



JICAシニア海外ボランティア「景観保存」

タイ国 第2の都市チェンマイへの赴任、2年間の記録 第4回 活動計画と活動内容

JICAボランティアの活動のフロー

JICAボランティアは、派遣期間の2年で下記5回の報告書をJICAに提出することが求められているが、基本的にはボランティア自身が配属先との協議を合意した上で自己の活動フレームを設定、管理、評価を行うことになっている。

それは、赴任先の社会の構成員として活動をし、経済的な利益や見返りを求めず、自らが進んで開発途上国の国づくりに自分のもてる力量を注いでいこうということであって、その姿はボランティア精神の発露による国際社会への貢献ということであり、特定範囲の任務に関して成果と評価が問われる専門家との違いがそこにある。

- 第1回 赴任3か月（現状把握と活動の方向性を策定）
- 第2回 赴任6か月（具体的な活動計画を決定）
- 第3回 赴任12か月（活動の方向性を再確認）
- 第4回 赴任18か月（活動の進捗確認と完了イメージ）
- 第5回 赴任24か月（総合的評価、活動成果の確認）

活動計画策定に向けて

チェンマイ県土木・都市計画事務所への赴任当初より、都市計画担当のカウンターパート（都市計画プランナーのアディサク氏）及び関係担当者との話し合いにより景観保存の活動についてはチェンマイ都市総合計画区域全体についての景観に関する計画策定案の作成を最終イメージとしたものを基本的な活動とする合意があり、明快な方向性ととも自由な活動計画を組み上げることができた。

既に赴任事務所において実行されつつあった各事業への景観保存の立場でのアドバイスについて、具体的には県下の市（テサバン）の都市計画担当者への都市計画研修での講義やチェンマイ市地域別まちづくり構想の提案等の直接的な協力、県における都市計画マスタープラン策定や土地区画整理事業、ピン川堤防改修計画への間接的協力においても景観行政を行なうについての具体的な計画と指標の必要性がクローズアップされつつあった。



ワット・サドゥムアング景観保存事業会議（現地視察）

施設整備等の個別事業へのアドバイス等の活動については、施設整備担当のカウンターパート（建築家のテラユット氏）と密接に連携しながら進めて行くことになった。これについては赴任当初より、ランナーカルチャーセンター（旧チェンマイ市庁舎）に隣接するワット・サドゥムアング景観保存事業会議への出席と日本の事例紹介を依頼され、この種の具体的な活動内容が理解できた。

また活動計画策定期間中に行ったアユタヤ及びランパンの視察において、国（県事務所）と市（テサバン）や文化財の担当である芸術局の地域における行政の仕組み方や制度の違いなどにより、景観としての考え方の統一が必要と思われた。このような状況の中で、内務省都市計画局の出先である赴任事務所として、市（テサバン）や町（タンボン）等への指導的立場と今後の役割を明確にしてゆくためにも、チェンマイ県としての「景観ガイドプラン」の策定提案とともにその策定プロセスにおいて景観データベースの蓄積が必要と考えた。



アユタヤ歴史公園保存計画（タイ芸術局）

活動目標の設定

今回赴任した、チェンマイ都市計画支援グループ（都市計画、土地区画整理、景観保存）全体の活動目標として下記2項目を設定した。

1. 急速な都市化が進むチェンマイにおいて、住みよい国際文化観光都市を実現するため、都市化に伴う無秩序な宅地開発や交通問題、古都の景観破壊等の課題に対処し、具体的な事業・プロジェクトの提案と実施する。
また、配属先で計画・実施中のプロジェクトに対し、各専門分野の日本での経験を生かして、プロジェクトの質的向上に寄与するような助言・提案を行う。
2. 地方分権化に伴う地方自治体への計画業務の移譲が進行中であるため、チェンマイ県内の地方自治体の行政計画策定能力向上への支援を行う。



執筆者

上嶋晴久 (うえじま はるひさ)
1957年 大和高田市本郷町(天神橋筋)生まれ
1979年 近畿大学工学部建築学科卒業(成瀬研)
HULL (HUL)建築設計 主宰
社団法人奈良まちづくりセンター副理事長
株式会社 国際開発アソシエイツ(P E)
奈良まほろば大使

景観保存 活動計画

諸条件を考慮した上で、下記計画により活動を進めた。

1. チェンマイ県内、その他の都市の景観保存の現状把握
 - (1)県内各行政機関への訪問による景観行政実態調査
 - (2)県外の景観保存先進地視察 (世界遺産を含む)
2. 景観データの収集 (景観データベース構築の提案)
 - (1)チェンマイ県内景観データの収集整理
 - (2)景観シミュレーター (国交省) を活用した地域別景観シミュレーションの実施
 - (3)北タイ様式等の伝統木造建築の分布調査
3. チェンマイ景観ガイドプランの策定に向けた提案
 - (1)日本の事例紹介 (タイ語翻訳資料の作成と配布)
 - (2)県の景観特性と課題の明確化
 - (3)都市景観の基本方向と具体的方策の提案
4. 都市計画、土地区画整理事業への景観保存の立場からのアドバイス
 - (1)都市計画研修での講義
 - (2)地区別まちづくり構想の提案
 - (3)地域別の景観計画面案

活動内容

1. チェンマイ、その他の都市の景観保存の状況把握

日本での都市計画や景観計画、街なみ環境整備計画や地域のまちづくりも同じことだが、地域の歴史や文化をはじめ町並景観や地理、環境特性、交通等の把握や過去の資料や将来の計画、現在進行しているプロジェクト等の把握なしには、内部まで入り込んだアドバイスはできない。ましてや、外国人である我々が日本の事例紹介を行うのは容易だが、タイ国の地域に根差したアドバイスや提案を行うにはまず、広く地域を知る必要がある。

 - (1)チェンマイ県内の景観保存行政に関係する個別の報告書や計画等の把握とその内容の理解。そして、各行政機関とその他研究機関への訪問による景観行政等の実態調査として、テサバン等地方自治体への聞き取りによる現状把握と景観計画の重要性を達言する活動を行った。
 - ①テサバン・ナコン・チェンマイ都市計画課 (2006.08.03)
 - ②チェンマイ大学アサダーン教授 (2006.08.08)
 - ③テサバン・ナコン・ランパーン市長 (2006.08.30)
 - ④テサバン・タンボン・チャンプワック町長 (2007.02.12)
 - ⑤土木・都市計画本局 都市整備保全課 (2007.02.28)
 - ⑥地方道路局 開発計画部、田中S V (2007.03.01)
 - ⑦テサバン・ナコン・チェンマイの浄水場 (2007.03.23)
 - ⑧テサバン・タンボン・メーカー町長 (2007.06.06)
 - ⑨テサバン・タンボン・メーアイ町長 (2007.06.06)

- ⑩テサバン・タンボン・ヴェンファン町長 (2007.06.07)
- ⑪テサバン・タンボン・ジヨムトン町長 (2007.07.24)
- ⑫テサバン・タンボン・サンカンペン町長 (2007.08.25)
- ⑬テサバン・ナコン・チェンマイ市長 (2007.11.07)



BKK(バンコック都)都市計画部都市整備課へ訪問

- (2)県外の景観保存先進地視察として、歴史的景観保全等の先進地方自治体への訪問と景観行政の実態把握し、赴任事務所への情報提供を行った。

 - ①アユタヤ歴史公園、同県DPT (2006.06.22)
 - ②ランパーン市街、同県DPT (2006.07.20)
 - ③ピサノロック市街、同県DPT (2006.12.14)
 - ④スコタイ歴史公園、同県DPT (2006.12.15~16)
 - ⑤ナーン市街、同県DPT (2007.03.12~14)
 - ⑥BKK都市計画部都市整備課 (2007.07.26)
 - ⑦ロップリー市街、同県DPT、芸術局 (2007.07.27)
 - ⑧ラオス ルアンパバン保存事務所 (2007.08.30)
 - ⑨BKKラタナコシン地区、トンブリ地区 (2007.11.08~09)
 - ⑩ブーケット旧市街、同県DPT、パトン市 (2007.12.01)
 - ⑪カンペンペット歴史公園 (2007.12.29)
 - ⑫カンボジア アンコール遺跡 (2008.03.15~18)



スコタイ歴史公園

参考文献

アユタヤ歴史公園保存計画 (タイ芸術局)